







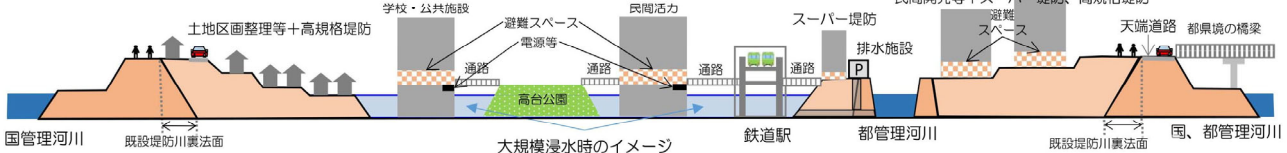
はじめに ～都立篠崎公園の高台化について～

災害に強い東京の形成にむけて「高台まちづくり」の取組み

東京東部地域は、海面水位よりも低い「ゼロメートル地帯」が広範囲に広がっています。東京都では災害時に、命の安全、最低限の避難生活水準を確保し、さらには浸水区域外への避難を可能とする「高台まちづくり」を推進しています。

「高台まちづくり」イメージ

建築物等（建物群）による高台まちづくり	高台公園を中心とした高台まちづくり	高規格堤防の上面を活用した高台まちづくり
<p>〔平常時〕賑わいのある駅前空間 〔浸水時〕避難スペース等を有する建築物とペDESTリアンデッキ等をつないだ建物群により命の安全・最低限の避難生活水準を確保</p>  <p>平常時</p>  <p>浸水時</p>	<p>〔平常時〕河川沿いの高台公園 〔浸水時〕緊急的な避難場所や救出救助等の活動拠点として機能。道路や建築物等を通じて浸水区域外への移動も可能</p>  <p>平常時</p>  <p>浸水時</p>	<p>〔平常時〕良好な都市空間・住環境を形成 〔浸水時〕緊急的な避難場所や救出救助等の活動拠点として機能。浸水しない連続盛土等を通じて浸水区域外への移動も可能</p>  <p>平常時</p>  <p>浸水時</p>



東京都では、激甚化する風水害に対しての「都市基盤としての高台まちづくり」や「緑や水辺を生かした、潤いや憩いを感じられる魅力ある空間の創出」などの取組を行っています。詳しくは東京都のHPを御覧ください。

- ・「TOKYO 強靱化プロジェクト」
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/kyoujinkaproject/index.html>
- ・「未来の東京戦略」 version up 2023
<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/choki-plan/>



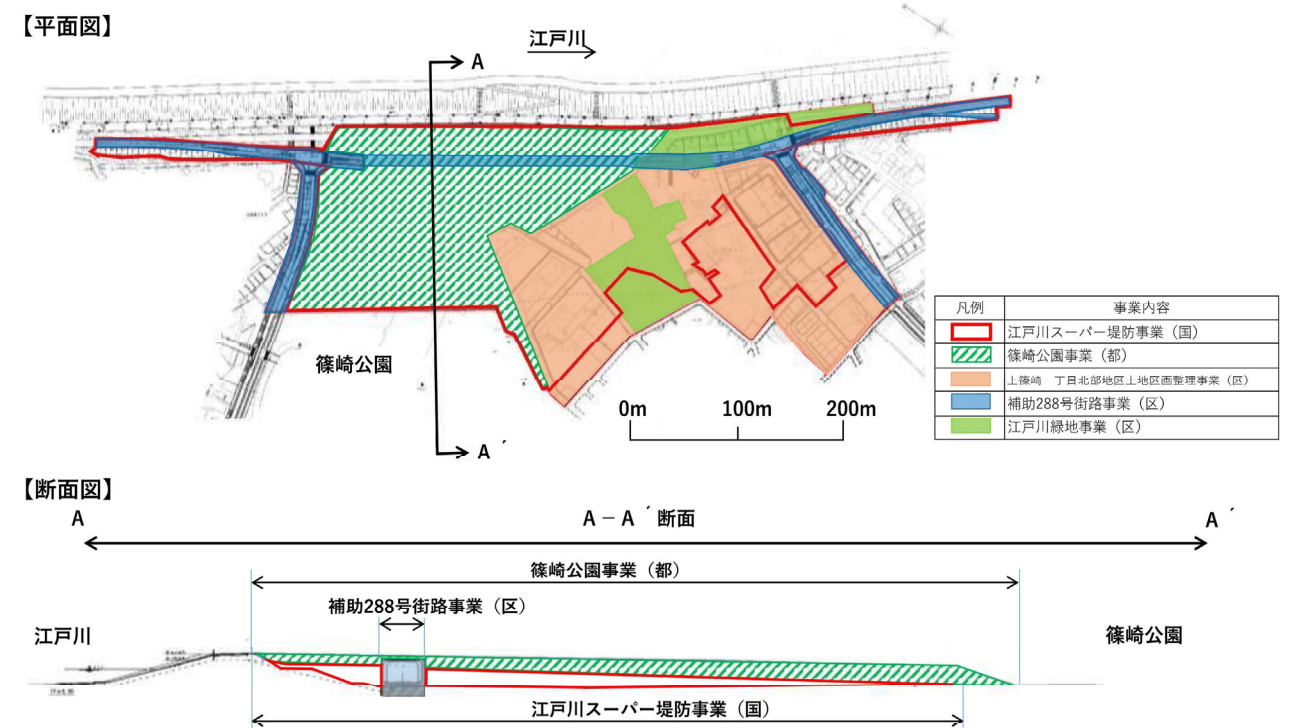
篠崎公園地区高台まちづくり事業について

篠崎公園地区高台まちづくり事業は、5つの共同事業として国の江戸川スーパー堤防事業や、江戸川区の区画整理事業及び街路整備事業、緑地事業等と併せて、東京都では篠崎公園事業として公園施設の整備を実施します。

国の江戸川スーパー堤防事業の盛土とあわせて、現地盤から約4.0m（海抜 A.P+6.0m）の盛土を実施し、盛土上部に公園を整備します。

公園に隣接する市街地とのつながりを考慮した公園施設や広場の高台化と避難動線の確保を図り、日常の公園利活用と併せて防災公園としての機能向上を目指しています。

共同事業の施行範囲イメージ



公園事業について、計画案や将来イメージのパネル、模型を展示しています。皆様のご意見等をお聞かせいただき、今後の公園整備に活かしていきます。

都立篠崎公園の現況

所在地

江戸川区北篠崎二丁目、上篠崎一丁目・三丁目・四丁目、
西篠崎一丁目・二丁目、篠崎町五丁目・六丁目・七丁目・八丁目、
谷河内二丁目、南篠崎四丁目各地内

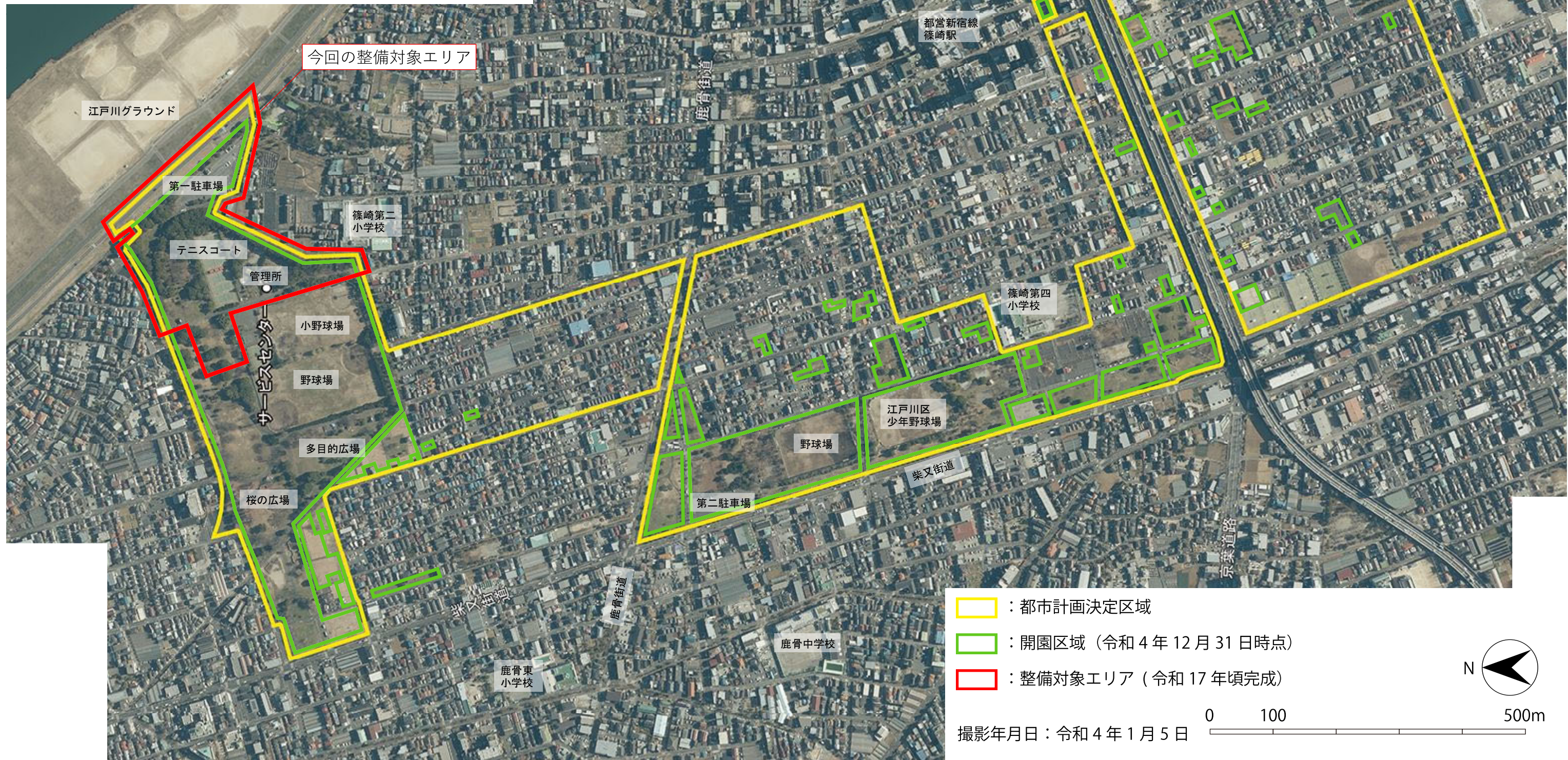
都市計画の概要

名称 東京都市計画公園第9・6・1号篠崎公園

面積 86.8ha（開園面積 約30.2ha）

告示 昭和32年12月21日 東京都告示第1689号（当初）

平成20年3月7日 東京都告示第278号（最終）



都立篠崎公園全体の整備計画 (平成 24 年 2 月策定)

篠崎公園全体整備計画の方針

篠崎公園は、昭和 42 年 7 月 26 日の開園以来、拡張整備を進めています。「東京都地域防災計画」等において、災害時の避難場所や活動拠点に位置付けられています。

基本理念

川の手の広域レクリエーション拠点と 憩いの森の創出

方針 1 川の手の広域レクリエーション拠点と憩いの森

- ・ 区部東部における広域レクリエーション需要に対応した公園を目指します。
- ・ 隣接する江戸川緑地や周辺の親水緑道等と連携した水と緑の骨格軸を形成します。
- ・ 地域の歴史、文化に根ざした郷土の森や、広い並木、開放的な広場など、地域の代表的な顔になる風格ある豊かな緑を創出し、人々が自然に親しみ、交流できる場とします。
- ・ 緑、広場、スポーツ、遊び、憩いの拠点として、地域の人々が集まり触れ合う場を創出します。

方針 2 防災拠点

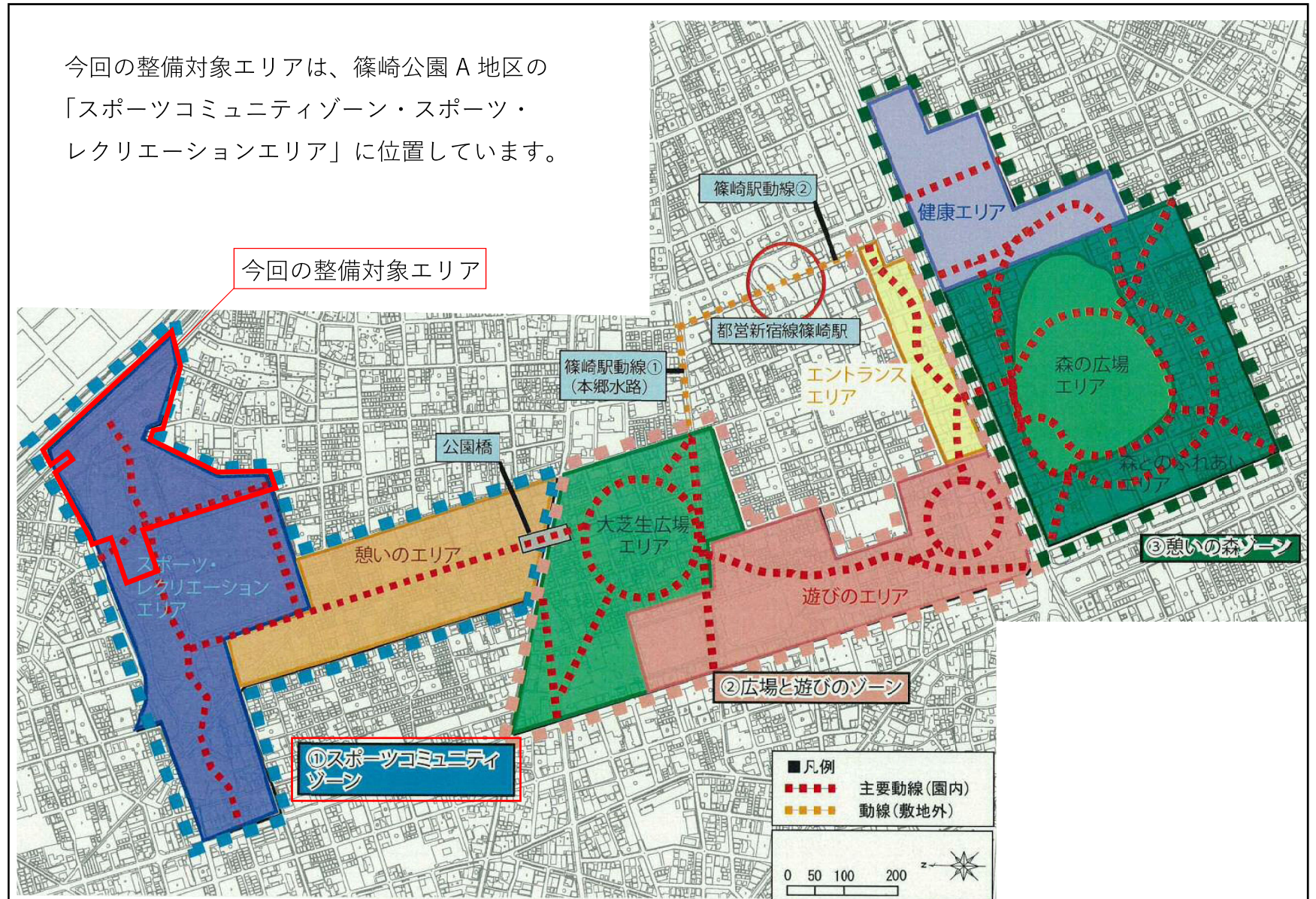
- ・ 避難場所の拡充や救出及び救助活動拠点としての機能の充実を図ります。
- ・ 震災時のみならず、水害時にも対応できるよう、公園に隣接する市街地とのつながりを考慮して、広場の高台化 (A.P+6.0m) と避難動線の確保を図ります。

方針 3 地域と共に成長する公園

- ・ 本事業の完了までには長期間を要することから、周辺まちづくりの状況や公園への時代のニーズを勘案の上、段階的に公園を整備していきます。
- ・ 周辺市街地との行き来や、地域コミュニティに配慮した整備を行っていきます。

篠崎公園全体のゾーニング計画

今回の整備対象エリアは、篠崎公園 A 地区の「スポーツコミュニティゾーン・スポーツ・レクリエーションエリア」に位置しています。



「スポーツ・レクリエーションエリア」の整備の方向性

- ・ 柴又街道沿いから江戸川土手まで、連続的に広場を設けます。土手上の広場は江戸川や園内の眺望を楽しめる場とします。
- ・ 管理所や駐車場、広場などを、スーパー堤防の整備の予定に合わせて配置します。
- ・ 緑に包まれた面的なスポーツ施設を集中して配置するエリアとします。
- ・ 既存の野球場 (4 面)、テニスコート (8 面) などスポーツ施設を集約します。

今回の整備対象エリアの整備計画案

整備目標

篠崎公園全体の整備計画の方針やスポーツレクリエーションエリアの整備の方向性を踏まえた、今回の整備目標を以下の通り設定します。

整備コンセプト

『既存施設機能を継承し、
豊かな緑の創出と江戸川の景観を活かした、安全・安心な公園』

目標1：緑の空間と水の景観

- ・公園の骨格となる並木のあるメイン園路、多目的な利用できる緑の広場空間、季節を楽しめる花の小径など多様で豊かな緑の空間を創出します。
- ・江戸川河川敷と一体となった公園空間を整備し、川を活かした水のある景観や眺望を楽しめる空間を創出します。

目標2：防災拠点の強化

- ・高台化により、震災のみならず、水害時でも活用できる公園を整備します。
- ・既存のトイレや防災トイレなどとあわせて、高台上に災害時にも活用できる管理施設や防災トイレ、避難に利用できる広場空間を整備し、防災拠点としての機能を強化します。

目標3：スポーツ施設など既存施設機能の継承

- ・撤去される既存公園スポーツ施設のテニスコートやバスケットゴール、遊具広場、BBQ広場などは、機能を継承し新たに整備します。
- ・遊具広場は、誰でも利用しやすい遊具の導入など、ユニバーサルデザインの視点で整備された広場を整備します。

今回の整備対象エリアの整備計画案

対象地のゾーニング

日常や災害時も利用できる草地の広場、既存施設の復旧を基本としながら、将来的な全体公園整備計画を踏まえた配置計画とします。

公園軸

既存の公園園路や将来的な公園整備計画の主要な園路や避難園路となる公園の軸。

水とみどりの交流ゾーン

江戸川堤防と公園軸の交点となる、眺望が楽しめる公園の河川側の入口となるゾーン。

堤防沿い緑地ゾーン

江戸川堤防のジョギングやサイクリング、散歩する人等に、樹陰や休憩場所を提供する広場や木立のゾーン。

広場ゾーン

様々なレクリエーションができ、また発災時の一時避難場所としても利用できる芝生を主体とした広場のゾーン。

管理ヤードゾーン

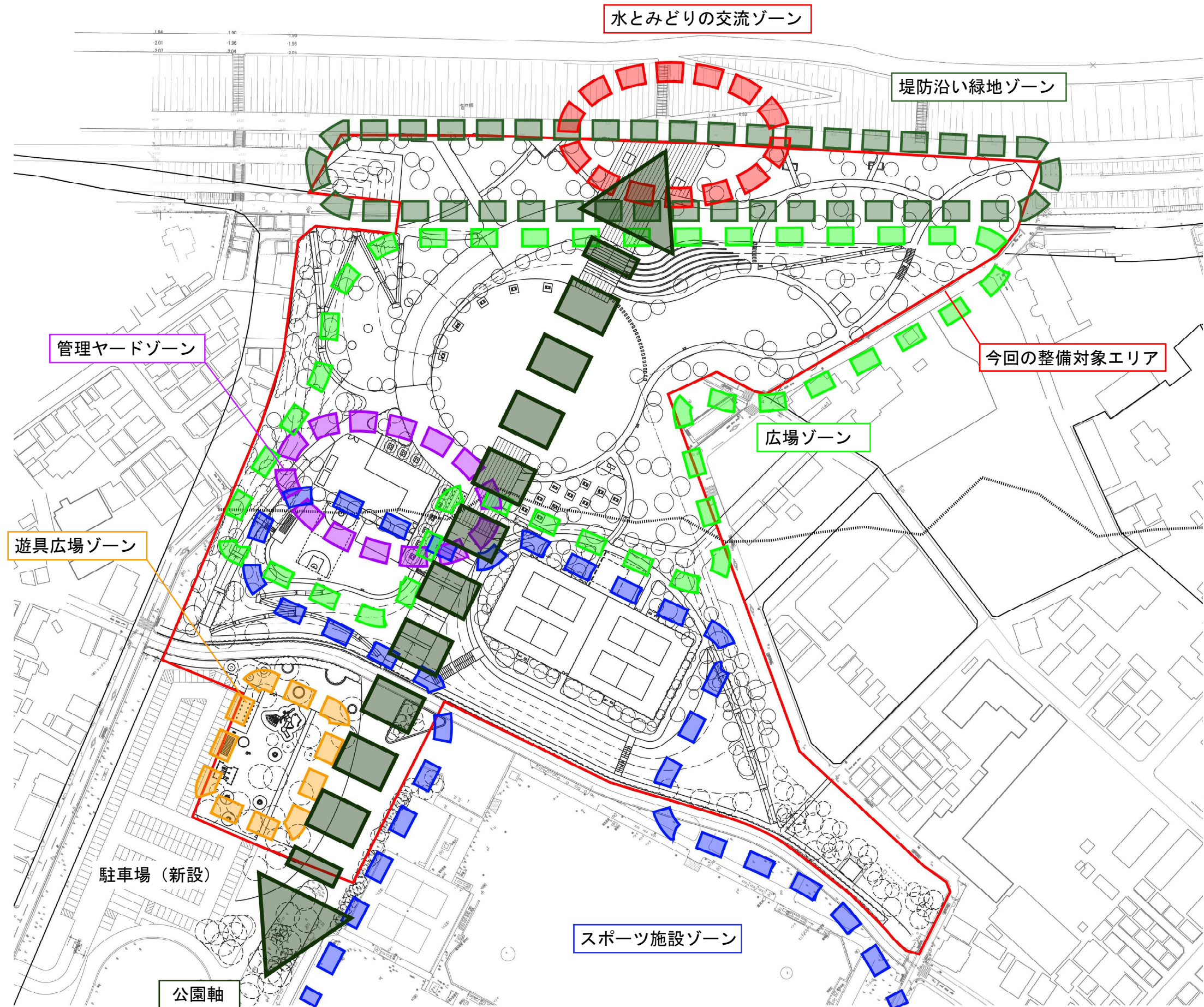
高台上部に設けることにより、発災時でも機能できる管理所やトイレ、倉庫や自家発電機などのあるバックヤードのゾーン。

遊具広場ゾーン

駐車場や公園周辺からアクセスしやすい高台下に設ける誰でも遊べる遊具を主体とした広場ゾーン。

スポーツ施設ゾーン

既存の野球場やテニスコートと連続した、高台上部のスポーツ施設を整備するゾーン。



今回の整備対象エリアの整備計画案

対象地の計画平面図

メイン園路

公園西側の柴又街道から連続する並木のある公園のメイン園路。
災害時は、セミトレーラーも通行可能な主要避難通路になります。

草地広場

草地で構成された多目的に利用できる広場。
公園中央部に既存施設を踏襲するBBQ広場を設けます。
災害時は高台上部にある避難場所としても活用します。

バスケ広場

既存のバスケットゴールを高台上部の広場に移動します。
災害時は高台上部にある避難場所としても活用します。

遊具広場

公園入口や駐車場から利用しやすい高台下の遊具広場。
様々な利用者が遊べる遊具などを中心に整備を進めます。

テニスコート

高台化工事で撤去されたテニスコートを高台上に再整備します。

管理棟・倉庫・バックヤード等

日常的な公園施設の窓口や管理スペース。
災害時でも利用できる高台上部に設け、情報発信、災害時でも利用できるトイレ、自家発電機なども整備します。

更衣棟

工事で撤去される更衣棟を新たに高台上部に整備します。

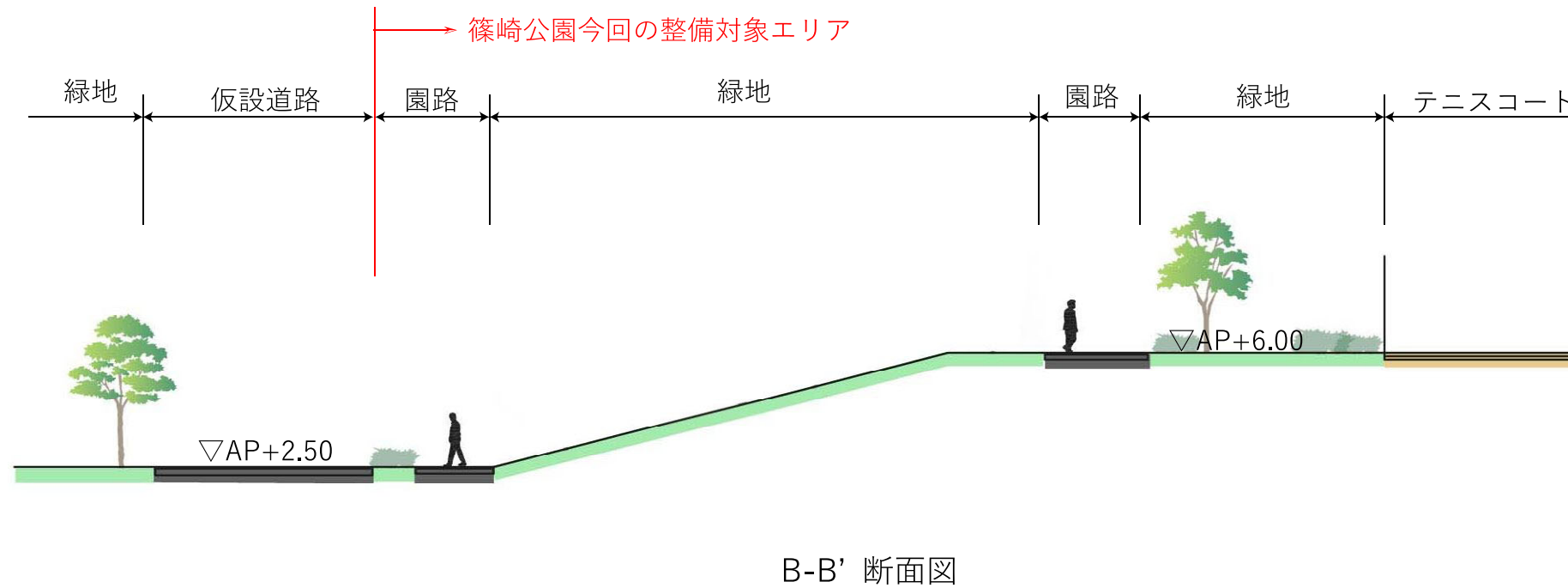
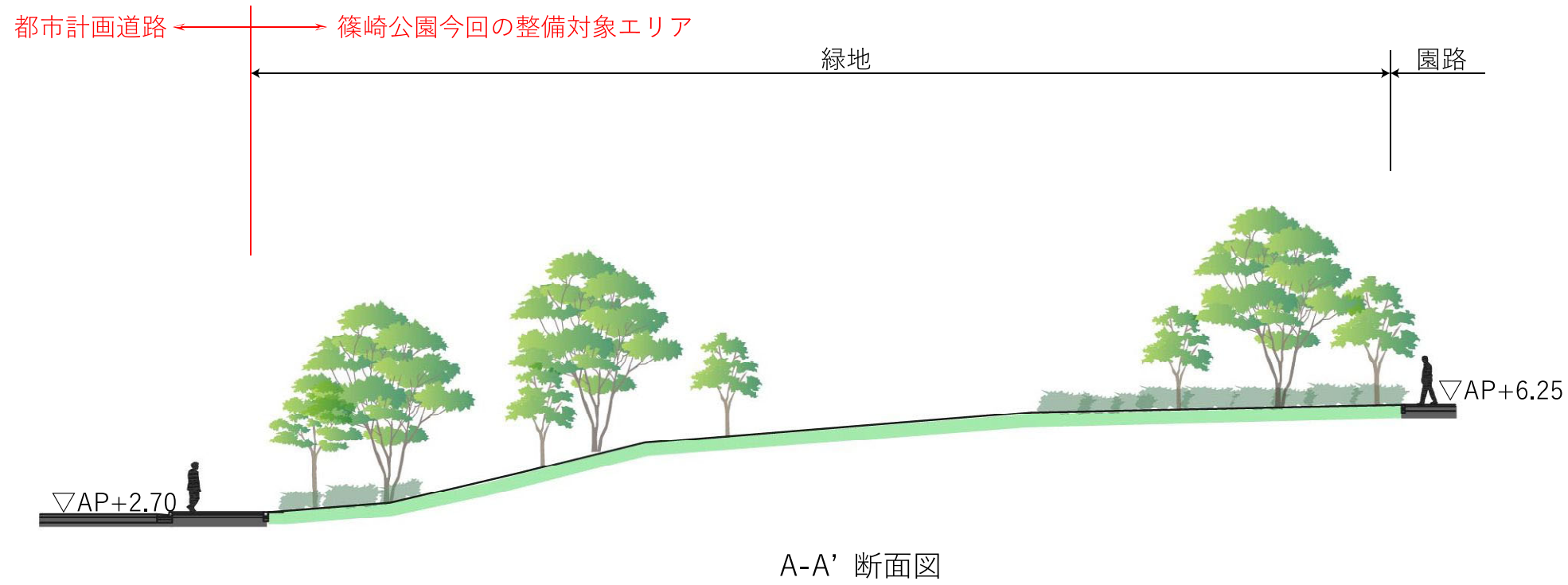
トイレ・防災トイレ

工事で撤去されるトイレは、新しく高台上下に整備します。
災害時に備え、防災トイレ（マンホール型トイレなど）は現状と同等数程度を確保する計画で進めています。



今回の整備対象エリアの整備計画案

対象地の計画断面図



今回の整備対象エリアの整備計画案

整備イメージ鳥瞰図 令和17年頃



※: 整備イメージは、現時点でのイメージとなり、今後の実施設計や関係機関との協議等により整備内容が変更となる場合がございます。